

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																			
東日本プライダル・ホテル・トラベル専門学校	昭和61年3月10日	清水 勇	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1098-1 (電話) 027-267-1172																			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																			
学校法人山崎学園	昭和42年3月31日	遠山 巍	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1145-1 (電話) 027-267-7945																			
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																	
商業実務	商業実務専門課程	プライダル・ホテル・トラベル科(プライダルビジネスコース)		平成10年文部科学省 告示第179号	なし																	
学科の目的	学校教育法その他、関係諸法規に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い教育を行い、明るく便利で幸せな生活環境を提供するサービススタッフを養成し、もって社会公共の福祉に貢献できる人材を輩出することを目的とする。																					
認定年月日	平成26年3月31日																					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験																
	2年 昼間	1950時間	930時間	780時間	240時間	0時間																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
240人(学科)	44人(109人の内数)	0人	7	15人	22人																	
学期制度	■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、実習の成果、出席状況等を総合的に勘案																		
長期休み	■学年始:4月1日～4月5日 ■夏季:7月24日～8月25日 ■冬季:12月25日～1月5日 ■学年末:3月19日～3月31日		卒業・進級 条件	校長が成績評価に基づいて課程修了を認定																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任及び学生指導委員による対応		課外活動	■課外活動の種類 学生会組織、部愛好会、インターンシップ等 ■サークル活動: 有																		
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) (株)スワン(式場)他プライダル関連業界 プリンスホテル他ホテル関連業界 JTB他トラベル関連業界		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)																		
	■就職指導内容 担任および就職部による面接練習等			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国土交通省 総合旅行業務取扱管理者</td> <td>③</td> <td>7人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>厚生労働省 レストランサービス技能検定</td> <td>③</td> <td>38人</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>アシスタントプライダ ルコーディネーター</td> <td>③</td> <td>46人</td> <td>40人</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	国土交通省 総合旅行業務取扱管理者	③	7人	3人	厚生労働省 レストランサービス技能検定	③	38人	37人	アシスタントプライダ ルコーディネーター	③	46人	40人
	資格・検定名	種		受験者数	合格者数																	
	国土交通省 総合旅行業務取扱管理者	③		7人	3人																	
	厚生労働省 レストランサービス技能検定	③		38人	37人																	
アシスタントプライダ ルコーディネーター	③	46人	40人																			
■卒業生数 : 27 人		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																				
■就職希望者数 : 27 人		■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等																				
■就職率 : 100 %																						
■卒業者に占める就職者の割合 : 100% %																						
■その他																						
(平成 28 年度卒業者に関する 平成29年5月1日 時点の情報)																						
中途退学 の現状	■中途退学者 6 名 平成28年4月1日時点において、在学者127名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者121名 ■中途退学の主な理由 学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等・学業不振		■中退率 4.7 %																			
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待制度 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象																					
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																					
当該学科の ホームページ URL	http://www.yamasaki.ac.jp/hotel/																					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ブライダル・ホテル・トラベル学科 ブライダルビジネスコース) 平成29年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○		TOEIC	就職時の英語力評価にも用いられる世界基準の英語検定 ・TOEICのテスト様式を理解し、本番のテストに備える ・日常生活での英語能力と国際人としての資質の向上・ビジネス表現 ・文法、単語&熟語の学	1前・後	60	2	○			○			○	
		○		サービス英会話	結婚式場・ホテルで使われている英会話をサービススタッフの立場で学ぶ	1前・後	60	2	○			○			○	
	○			ビジネス基礎	・挨拶の重要性、敬語の種類や使い分け接遇表現、電話対応(ロールプレイング)、ビジネス文書の作成、冠婚葬祭のマナーなどを学ぶ。 ・秘書検定やビジネス検定の対策	1前・後	60	2	○			○			○	
	○			パソコン基礎	・タイピング練習 ・Wordの操作(基本操作・図形操作・長文機能) ・日商PC3級の対策問題実施 ・Excel(基本操作、関数、グラフ作成など) ・MOS Excelのトレーニング	1前・後	60	2		○		○			○	
	○			キャリアデザイン	就職活動の流れや業界の特徴の説明、自己PRや履歴書、エントリーシートの書き方、面接の種類とその練習、企業研究を中心に指導しながら就職活動に備える。	1前・後	60	2		○		○			○	
			○	課外研修	・インターンシップ、企業訪問、企業説明などを通して企業のしくみや仕事を理解するとともに実務経験を通して知識や理解も深める。	1前・後	30	1	△	○		○	○			
			○	学園祭	学生の演出によるドレスショーや挙式、テーブルコーディネートなどを来場者に発表し、さらなるスキルアップをはかる。	1前・後	30	1	△	○		○	○			
	○			フードビジネス	・日本や外国の外食産業やその発展 ・市場規模と動向 ・企業の経営について ・マーケティングや経営分析 ・飲食店の開業	1前・後	60	2	○			○			○	○
	○			ブライダル基礎	結婚の定義、日本や欧米の結婚式の歴史、ブライダルビジネス、ブライダル関連業種、結納、コーディネーター業務やブライダルセールスの特徴、打合せ業務について	1前・後	60	2	○	△		○			○	
	○			レストランサービス基礎	・接客の基本 ・西洋料理の食器用具と種類 ・メニュー管理 ・テーブルマナー ・料飲の種類と特徴 ・レストランサービス実習	1前・後	120	4	○	△		○			○	
	○			ブライダルデザイン	写真立てやアロマキャンドル、ウェルカムボード、ビーズアクセサリーなどブライダルに関連したグッズを自分のオリジナル作品として製作していく。	1前・後	60	2		○		○			○	
	○			一般教養	一般教養の演習問題と解説、時事問題や経済用語の解説を行いながら就職筆記試験に備える。	1前・後	60	2	△	○		○			○	
	○			カラーコーディネート	・色の表示方法 ・表色系 ・光と色 ・混色 ・配色実技演習 ・色彩検定3級対策問題実施 ・色とインテリア ・マンセル表色系など	1前・後	60	2	△	○		○			○	
		○		ヘア&メイク基礎	実習を通じてスキンケアやファンデーションの基礎、肌色の修正、アイメイクやチークの基礎を学び、さらに後期ではそれを活かしたモデルへのメイクをしながら応用力を身につけます。	1前・後	60	2		○		○			○	○
	○			フラワーアレンジメント	テーブルフラワーやブーケ、コサージュの作成を通じて、花の名前や扱い方、ワイヤリングの方法、色の相性、アレンジ作品のメカを習得していく。	1前・後	60	2	△		○	○			○	
	○			コミュニケーション技法	社会人として重要視されるコミュニケーション能力の基本を理解し、事例演習を通じて効果的な実践方法を身につけることが目的。	1前	30	1	△	○		○			○	
	○			ホテルビジネス	・現代ホテルの役割 ・ホテルの歴史 ・ホテルの組織について ・各部門(宿泊、宴会、料飲、調理)の内容と役割	1前・後	60	2	○			○			○	
	○			ブライダルマーケティング	・ブライダル業界のマーケティングとその方向性 ・市場の現状と市場調査 ・ブライダル商品の特徴 ・商品開発 ・ブライダルセールスと販売促進について ・宴会サービスの業務について	1前・後	60	2	○			○			○	
	○			HR	コミュニケーション能力を育成しながらホームルームや学校における生活上の諸問題の解決や集団の生活の充実をはかる。	1前・後	60	2	○	△		○			○	
	○			中国語	複雑な中国語の発音を発声練習を繰り返しながら身につける。各単元ごとに一人一人との短い会話練習をして理解度を深める。	1前・後	60	2	△	○		○			○	
	○			プレゼンテーション技法	就職試験において重要視されるプレゼンテーションの基本を理解、事例演習を通じて効果的な実践方法を身につける	1後	30	1	△	○		○			○	
	○			ホスピタリティ	ホスピタリティの概念を始め、ホスピタリティの持つ奥深さや重要性を学ぶ	1後	30	1	○			○			○	
	○			英会話	・日常会話としての英語能力向上を目的とした学習 ・場面設定による会話能力の習得	2前・後	60	2	△	○		○			○	
	○			ビジネス応用	・ビジネスメールとルーム対応 ・CSとは ・商業用語、経済用語 ・ビジネスメールの書き方 ・電話対応のロールプレイング ・冠婚葬祭のマナーなど	2前・後	60	2	○	△		○			○	
	○			パソコン応用	・Wordの習得と検定対策 ・タイピング練習 ・ビジネス文書作成 ・表、図形、イラスト、インターネットの活用 ・Excel、Mosの知識習得	2前・後	60	2		○		○			○	
	○			キャリアデザイン	・就職を目標とする企業研究と自己研究、研鑽 ・企業研究 ・グループ、個人の面接練習	2前	30	1		○		○			○	
合計					科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件及び履修方法は上記必修科目及び選択必修科目で1950単位時間(65単位)以上を満たすものとする	1学年の学期区分	前後期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ブライダル・ホテル・トラベル学科 ブライダルビジネスコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	キャリアデザイン	・企業研究 ・筆記対策 ・面接練習など個人の進捗状況に合わせ指導する	2後	30	1		○		○				
		○	課外研修	・インターンシップ、企業訪問、企業説明などを通して企業のしくみや仕事を理解するとともに実務経験を通して知識や理解も深める。	2前・後	30	1	△	○		○	○			
		○	学園祭	学生の演出によるドレスショーや挙式、テーブルコーディネートなどを来場者に発表し、さらなるスキルアップをはかる。	2前・後	30	1	△	○		○	○			
	○		食文化	・日本の食文化の特徴 ・食文化の地域性 ・郷土料理と伝統料理 ・調理技術と食事作法 ・西洋料理の食文化 ・中国料理の食文化 ・エスニック料理の食文化	2前・後	60	2	○			○	○			
	○		ホテルフロント	・フロントオフィスの組織と業務 ・客室のタイプと料金システム ・客室予約の種類と宿泊予約のシステム ・精算方法と宿泊料金の計算など	2前・後	60	2	○			○	○			
○			ブライダル実践	・各挙式の進行や手順、演出等 ・披露宴の進行、スタイル、演出 ・ブライダルコーディネート ・打合せの手順とルール ・見積りの出し方 ・手配業務 ・当日業務の流れ	2前・後	60	2	○	△		○	○			
○			レストランサービス実践	・西洋料理に使用される主な食材・メニュー作成実習・オーダーテーク実習 ・客席案内から注文、テーブルサービス ・ワゴンサービス実習 ・施設管理 ・苦情対策 ・安産衛生など	2前	60	2		△	○	○	○			
○			映像製作	・課題制作 ・写真の加工 ・パワーポイントの基本操作 ・卒業制作	2前・後	60	2	△	○		○				○
○			ユニバーサルサービス	ユニバーサルサービス、バリアフリーの基本を学び、サービスの現場で柔軟に対応できる技術を習得する	2前・後	60	2	○			○	○			
○			フォーマルウェア	・フォーマルアイテム（インナーウェア、メークアップ、香り、ネイルエナメル） ・フォーマルの帽子・宝石 ・フォーマルシーンの解説とふさわしいフォーマルウェア	2前	60	2	○			○	○			
	○		手話	手話の基本を習得するとともに、障がい者のニーズやサポート方法を学ぶ	2後	30	1	○	△		○				○
○			ウェディングプロデュース	・夏休みスペシャルでの企画、立案 ・学園祭の企画、準備 ・各テーブルデコレーションの企画、準備、発表	2前・後	60	2	△		○	○	○			
	○		ヘアメイク実践	・ヘアアレンジ方法（ピンの止め方やアイロンの使い方） ・相モデルメイク ・作品作り（デザイン画からヘアとメイクの作品作り） ・花嫁のヘアメイク作品作り	2前・後	60	2	△		○	○	○			○
	○		和装	・浴衣の着付け ・帯の結び方 着物の畳み方 ・腰紐の片づけ方 ・長襦袢までの着付け ・着物の着付け ・名古屋帯の結び方 ・袋帯の結び方など実習を通じて学んでいきます	2前・後	60	2	△		○	○	○			○
○			一般教養	一般教養の演習問題と解説、時事問題や経済用語の解説を行いながら就職筆記試験に備える。	2前	30	1	△	○		○	○			
○			ブライダルコスチューム	ドレスやコスチュームに使われる生地の種類、ドレスのシルエットやディテールを学び、実習を通じてメンズスーツやドレスの補正の仕方、メンテナンスを習得していきます。	2前・後	60	2	△	○		○				○
		○	パフォーマンス演習	学園祭や体験入学でのファッションショーに活かせる知識・技術を学ぶ	2前	30	1	○	△		○	○			
○			HR	学生生活へのアドバイスや基礎体力作り、地域ボランティアを通じ、クラスや学年を超えた交流を図ります	2前	30	1	○	△		○	○			
		○	HR	学生生活へのアドバイスや基礎体力作り、地域ボランティアを通じ、クラスや学年を超えた交流を図ります	2後	30	1	○	△		○	○			
○			バーカウンター実務	バー業務・酒類について基礎的知識と技能を学ぶ	2後	30	1	○	△		○	○			
		○	国際文化論	各国の文化（生活習慣・食習慣等）の基礎を習得するとともに、宗教による食の禁忌等を学ぶ	2前	30	1	○			○	○			
		○	ブライダルビューティ	花嫁の美しさを支えるブライダルエステやネイルアートを実習を踏まえながら学んでいきます。	2後	30	1	△	○		○				○
	○		食品	食品とは ・食品の種類 ・栄養素について ・食品貯蔵 ・食品衛生対策について学ぶ ・イモ類、砂糖類 ・豆類 ・野菜類 ・果実類 ・魚肉類 ・肉類・牛乳、乳製品 ・表示や貯蔵について ・食品衛生対策 ・消毒、殺菌など	2後	30	1	○			○				○
○			A B C検定対策	・過去問題を中心に対策問題を実施。解説しながら理解度を深める	2後	30	1	△	○		○	○			
		○	卒業制作	・2年間で学んだブライダルの知識や技術の集大成として、各授業の成果を形として残す	2後	30	1	△	○		○	○			
合計					51科目			2520単位時間(84単位)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件及び履修方法は上記必修科目及び選択必修科目で1950単位時間(65単位)以上を満たすものとする	1学年の学期区分	前後期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
東日本ブライダル・ホテル・トラベル専門学校	昭和61年3月10日	清水 勇	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1098-1 (電話) 027-267-1172																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人山崎学園	昭和42年3月31日	遠山 巍	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1145-1 (電話) 027-267-7945																				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																			
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル・ホテル・トラベル科(ホテルコース)	平成10年文部科学省 告示第179号	なし																			
学科の目的	学校教育法その他、関係諸法規に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い教育を行い、明るく便利で幸せな生活環境を提供するサービススタッフを養成し、もって社会公共の福祉に貢献できる人材を輩出することを目的とする。																						
認定年月日	平成26年3月31日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
	2年 昼間							1950時間	1200時間	600時間	150時間	0時間	0時間										
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
240人(学科)	44人(109人の内数)	0人	7人	15人	22人																		
学期制度	■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、実習の成果、出席状況等を総合的に勘案																			
長期休み	■学年始:4月1日～4月5日 ■夏季:7月24日～8月25日 ■冬季:12月25日～1月5日 ■学年末:3月19日～3月31日		卒業・進級 条件	校長が成績評価に基づいて課程修了を認定																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任及び学生指導委員による対応		課外活動	■課外活動の種類 学生会組織、部愛好会、インターンシップ等																			
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) (株)スワン(式場)他ブライダル関連業界 プリンスホテル他ホテル関連業界 JTB他トラベル関連業界		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■課外活動の種類 学生会組織、部愛好会、インターンシップ等																			
	■就職指導内容 担任および就職部による面接練習等			■サークル活動: 有																			
	■卒業生数 : 23 人			■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)																			
	■就職希望者数 : 21 人			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国土交通省 総合旅行業務取扱管理者</td> <td>③</td> <td>7人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>厚生労働省 レストランサービス技能検定</td> <td>③</td> <td>38人</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>アシスタントブライダルコーディネーター</td> <td>③</td> <td>46人</td> <td>40人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	国土交通省 総合旅行業務取扱管理者	③	7人	3人	厚生労働省 レストランサービス技能検定	③	38人	37人	アシスタントブライダルコーディネーター	③	46人	40人
	資格・検定名	種		受験者数	合格者数																		
	国土交通省 総合旅行業務取扱管理者	③		7人	3人																		
厚生労働省 レストランサービス技能検定	③	38人	37人																				
アシスタントブライダルコーディネーター	③	46人	40人																				
■就職者数 : 21 人		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																					
■就職率 : 100 %		■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等																					
■卒業者に占める就職者の割合 : 91.3 %																							
■その他 ・進学者数: 1人																							
(平成 28 年度卒業生に関する 平成29年5月1日 時点の情報)																							
中途退学の 現状	■中途退学者 6 名 平成28年4月1日時点において、在学者127名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者121名 ■中途退学の主な理由 学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等・学業不振		■中退率 4.7 %																				
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待制度 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象																						
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																						
当該学科の ホームページ URL	http://www.yamasaki.ac.jp/hotel/																						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まれません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ブライダル・ホテル・トラベル学科 ホテルコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			TOEIC	就職時の英語力評価にも用いられる世界基準の英語検定 ・TOEICのテスト様式を理解し、本番のテストに備える ・日常生活での英語能力と国際人としての資質の向上・ビジネス表現・文法、単語&熟語の学習	1前・後	60	2	○			○		○		
○			ビジネス基礎	・挨拶の重要性、敬語の種類や使い分け接客表現、電話対応(ロールプレイング)、ビジネス文書の作成、冠婚葬祭のマナーなどを学ぶ。 ・秘書検定やビジネス検定の対策	1前・後	60	2	○			○			○	
○			パソコン基礎	・タイピング練習 ・Wordの操作(基本操作・図形操作・長文機能) ・日商PC3級の対策問題実施 ・Excel(基本操作、関数、グラフ作成など)・MOS Excelのトレーニング	1前・後	60	2		○		○			○	
○			キャリアデザイン	ホテル・レストラン業界の企業研究、自己分析、選考対策、グループディスカッションの進め方などを学ぶ	1前・後	60	2		○		○		○		
		○	課外研修	・インターンシップ、企業訪問、企業説明などを通して企業のしくみや仕事を理解するとともに実務経験を通して知識や理解も深める。	1前・後	30	1	△	○			○	○		
		○	学園祭	学生が普段学んでいる知識・技術を学生が主体となり出店、展示を企画し運営することを学ぶ	1前・後	30	1	△	○		○		○		
○			ホテルビジネス	ホテルとは何のために存在しているのか、ホテルの歴史にはどのような変遷があるのか、ホテルの組織や業務の特徴を学ぶ	1前・後	60	2	○			○			○	
○			ホテルフロント	宿泊業務の組織や特性フロント、ハウスキーピングなどに関する実務と知識を体系的に学ぶ	1前・後	60	2	○			○			○	
○			ブライダル基礎	結婚の定義、日本や欧米の結婚式の歴史、ブライダルビジネス、ブライダル関連業種、結納、コーディネーター業務やブライダルセールスの特徴、打合せ業務について	1前・後	60	2	○	△		○			○	
○			レストランサービス基礎	レストランの種類や特性、食材の知識や調理方法、具体的なサービス方法などレストランサービスに関する基礎を学ぶ	1前・後	120	4	○		△	○			○	
○			国内観光地理	・観光地理を学ぶことで地理検定や就職試験に役立てる学習 ・都道府県別の観光施設、歴史施設、美術館、博物館、寺社仏閣、温泉、自然景観、旧跡等の学習	1前	30	1	○			○			○	
○			日本旅館実務	「日本旅館」が持つ商品機能をサービス面、設備面の両面から理解し、日本旅館の「おもてなしの心」、言葉遣い、姿勢、お客様の心理などを学ぶ	1前	30	1		△	○	○			○	○
○			サービス英会話	ホテルやレストランで使われている英語を、サービススタッフの立場で学ぶ	1前・後	60	2	○	△		○			○	
○			一般教養	一般教養の演習問題と解説、時事問題や経済用語の解説を行いながら就職筆記試験に備える。	1前・後	60	2	△	○		○			○	
○			コミュニケーション技法	社会人として重要視されるコミュニケーション能力の基本を理解し、事例演習を通じて効果的な実践方法を身につけることを目的としている。	1前	30	1	△	○		○			○	
○			中国語	複雑な中国語の発音を発声練習を繰り返しながら身につける。各单元ごとに一人一人との短い会話練習をして理解度を深める。	1前・後	60	2	△	○		○			○	
○			HR	学生生活へのアドバイスや基礎体力作り、地域ボランティアを通じ、クラスや学年を超えた交流を図る	1前・後	60	2	○	△		○			○	
○			バー&カフェ実習	飲料に関する総合的な学習と、コーヒー・紅茶を中心とした技術講習でラウンジ・カフェの概要を学ぶ	1前・後	60	2	△		○	○			○	
○			英会話	・日常会話としての英語能力向上を目的とした学習 ・スポーツ観戦、催物会場やイベント等場面設定による会話能力の習得	1前・後	60	2	△	○		○			○	
○			パソコン応用	・Wordの習得と検定対策 ・タイピング練習 ・ビジネス文書作成 ・表、図形、イラスト、インターネットの活用 ・Excel、Mosの知識習得	2前・後	60	2		○		○			○	
○			キャリアデザイン	・就職を目標とする企業研究と自己研究、研鑽 ・企業研究 ・グループ、個人の面接練習	2前	30	1		○		○			○	
		○	キャリアデザイン	・企業研究 ・筆記対策 ・面接練習など個人の進捗状況に合わせ指導する	2後	30	1		○		○			○	
合計															
					科目	単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1学年の学期区分	期
		1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ブライダル・ホテル・トラベル学科 ホテルコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
(留意事項)	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	課外研修	・インターンシップ、企業訪問、企業説明などを通して企業のしくみや仕事を理解するとともに実務経験を通して知識や理解も深める。	2前・後	30	1	△	○			○	○		
		○	学園祭	学生が普段学んでいる知識・技術を学生が主体となり出店、展示を企画し運営することを学ぶ	2前・後	30	1	△	○		○		○		
○			ホテルビジネス	ホテルとは何のために存在しているのか、ホテルの歴史にはどのような変遷があるのか、ホテルの組織や業務の特徴を学ぶ	2前・後	60	2	○	△		○		○		
○			ホテルフロント	宿泊業務の組織や特性フロント、ハウスキーピングなどに関する実務と知識を体系的に学ぶ	2前・後	60	2	○			○		○		
○			ブライダル実践	・各挙式の進行や手順、演出等 ・披露宴の進行、スタイル、演出 ・ブライダルコーディネーター ・打合せの手順とルール ・見積りの出し方 ・手配業務 ・当日業務の流れ	2前・後	60	2	○	△		○		○		
○			レストランサービス実践	レストランの種類や特性、食材の知識や調理方法、具体的なサービス方法などレストランサービスに関する応用を学ぶ	2前・後	90	3	○	△		○		○		
○			バー&カフェ実習	バー業務・酒類について基礎的知識と技能を学ぶ	2前・後	60	2	△		○	○		○		
○			サービス英会話	ホテルやレストランで使われている英語を、サービススタッフの立場で学ぶ	2前・後	60	2	○	△		○		○		
○			英会話	・日常会話としての英語能力向上を目的とした学習 ・場面設定による会話能力の習得	2前・後	60	2	△	○		○		○		
○			一般教養	一般教養の演習問題と解説、時事問題や経済用語の解説を行いながら就職筆記試験に備える。	2前	30	1	△	○		○		○		
○			中国語	・日常会話の知識向上 ・旅行、ショッピング、乗り物、病院等様々な場面での会話能力の習得	2前・後	60	2	△	○		○		○		
○			国際文化論	各国の文化（生活習慣・食習慣等）の基礎を習得するとともに、宗教による食の禁忌等を学ぶ	2前	30	1	○			○		○		
○			HR	学生生活へのアドバイスや基礎体力作り、地域ボランティアを通じ、クラスや学年を超えた交流を図ります	2前	30	1	○	△		○		○		
		○	HR	学生生活へのアドバイスや基礎体力作り、地域ボランティアを通じ、クラスや学年を超えた交流を図ります	2後	30	1	○	△		○		○		
	○		食品	食品とは・食品の種類 ・栄養素について・食品貯蔵・食品衛生対策について学ぶ ・イモ類、砂糖類 ・豆類 ・野菜類 ・果実類 ・魚肉類 ・肉類 ・牛乳、乳製品 ・表示や貯蔵について ・食品衛生対策 ・消毒、殺菌など	2後	30	1	○			○		○		
	○		手話	手話の基本を習得するとともに、障がい者のニーズやサポート方法を学ぶ	2後	30	1	○	△		○		○		
○			ユニバーサルサービス	ユニバーサルサービス、バリアフリーの基本を学び、サービスの現場で柔軟に対応できる技術を習得する	2前・後	60	2	○			○		○		
		○	POPデザイン	POPデザインの基礎を習得することにより、就職後の店頭メニュー等に役立つ技術を身につける	2後	30	1	△	○		○		○		
○			海外観光地理	観光地理を学ぶことで地理検定や就職試験に役立つ国別の観光施設、歴史施設、美術館、博物館、自然景観、旧跡等の学習	2後	30	1	○			○		○		
○			ABC検定対策	ABC検定の取得のために、過去問題やブライダル基礎の復習・応用の知識を習得する	2後	30	1	○			○		○		
合計				45科目	2190単位時間(73単位)										
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
業要件及び履修方法は上記必修科目及び選択必修科目で1950単位時間(65単位)以上を満たすものとする								1学年の学期区分				前後期			
								1学期の授業期間				15週			

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
東日本ブライダル・ホテル・トラベル専門学校	昭和61年3月10日	清水 勇	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1098-1 (電話) 027-267-1172				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人山崎学園	昭和42年3月31日	遠山 巍	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1145-1 (電話) 027-267-7945				
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士		
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル・ホテル・トラベル科(トラベルコース)		平成10年文部科学省 告示第179号	なし		
学科の目的	学校教育法その他、関係諸法規に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い教育を行い、明るく便利で幸せな生活環境を提供するサービススタッフを養成し、もって社会公共の福祉に貢献できる人材を輩出することを目的とする。						
認定年月日	平成26年3月31日						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
	2年 昼間						
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240人(学科)	21人(109人の内数)	1人	7人	15人	22人		
学期制度	■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、実習の成果、出席状況等を総合的に勘案			
長期休み	■学年始:4月1日～4月5日 ■夏季:7月24日～8月25日 ■冬季:12月25日～1月5日 ■学年末:3月19日～3月31日		卒業・進級 条件	校長が成績評価に基づいて課程修了を認定			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任及び学生指導委員による対応		課外活動	■課外活動の種類 学生会組織、部愛好会、インターンシップ等			
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) (株)スワン(式場)他ブライダル関連業界 プリンスホテル他ホテル関連業界 JTB他トラベル関連業界		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業者に係る平成29年5月1日時点の情報)			
	■就職指導内容 担任および就職部による面接練習等			資格・検定名 種 受験者数 合格者数			
	■卒業生数 : 14 人			国土交通省 総合旅 行業務取扱管理者 ③ 7人 3人			
	■就職希望者数 : 14 人			厚生労働省 レストラン サービス技能検定 ③ 38人 37人			
	■就職率 : 100 %			アシスタントブライダ ルコーディネーター ③ 46人 40人			
	■卒業者に占める就職者の割合 : 100 %			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する か記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)			
■その他 ・進学者数: 人		■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等					
(平成 28 年度卒業者に係る 平成29年5月1日 時点の情報)							
中途退学の 現状	■中途退学者 6 名		■中退率 4.7 %		平成28年4月1日時点において、在学者127名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者121名 ■中途退学の原因 学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等・学業不振		
■中退防止・中退者支援のための取組 担任及び退学防止委員会による対応							
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待制度 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象						
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)						
当該学科の ホームページ URL	http://www.yamasaki.ac.jp/hotel/						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」とは、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ブライダル・ホテル・トラベル学科 トラベルコース) 平成29年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			TOEIC	就職時の英語力評価にも用いられる世界基準の英語検定 ・TOEICのテスト様式を理解し、本番のテストに備える ・日常生活での英語能力と国際人としての資質の向上・ビジネス表現・文法、単語 &熟語の学	1前・後	60	2	○			○			○		
○			ビジネス基礎	・挨拶の重要性、敬語の種類や使い分け接客表現、電話応対（ロールプレイング）、ビジネス文書の作成、冠婚葬祭のマナーなどを学ぶ。 ・秘書検定やビジネス検定の対策	1前・後	60	2	○			○				○	
○			パソコン基礎	・タイピング練習 ・Wordの操作（基本操作・図形操作・長文機能）・日商PC3級の対策問題実施 ・Excel（基本操作、関数、グラフ作成など）・MOS Excelのトレーニング	1前・後	60	2			○	○				○	
○			キャリアデザイン	・就職を目標とする企業研究と自己研究、研鑽・自己分析・業種業界研究 ・グループ、個人の面接練習・グループディスカッション能力の向上	1前・後	60	2		○		○			○		
		○	課外研修	・インターンシップ、企業訪問、企業説明などを通して企業のしくみや仕事を理解するとともに実務経験を通して知識や理解も深める。	1前・後	30	1	△	○			○	○			
		○	学園祭	学生が普段学んでいる知識・技術を学生が主体となり出店、展示を企画し運営することを学ぶ	1前・後	30	1	△	○		○		○			
○			英会話	・日常会話としての英語能力向上を目的とした学習 ・スポーツ観戦、催物会場やイベント等場面設定による会話能力の習得	1前・後	60	2	△	○		○				○	
○			旅行英語	・国家試験合格のための旅行英語 ・実務として旅行関係機関との取引に関する知っておくべき英語知識 ・旅行に関する契約書類の学習・EU、政府観光局 ・観光地、宿泊、乗り物における実用英語の学習	1前・後	60	2	○	△		○				○	
○			中国語	・中国語を学ぶ意義・中国と中国語 ・ローマ字表記と発音、代名詞、数字、文章、日常会話の基礎知識習得 ・旅行、ショッピング、乗り物、病院等様々な場面での会話能力の習得	1前・後	60	2	△	○		○				○	
○			旅行業法・約款	・国家試験に合格するための法律知識・旅行会社を経営・運営する為に必要な知識 ・旅行者との取引に関する知っておくべき知識 ・旅行会社の責任、罰則、契約形態、旅程管理、補償等を学習	1前	60	2	○			○				○	
○			国内旅行 (地理・運賃)	・国家試験に合格するための法律知識・旅行者との取引に関する知っておくべき知識 ・都道府県別の観光施設、歴史施設、美術館、博物館、寺社仏閣、温泉、自然景観、旧跡等の学習 ・JR、航空、バス、宿泊、船舶の規則と運賃料金の計算、取消等の学習	1前	60	2	○			○				○	
○			海外旅行 (各種・地理・運賃・出入国・実務)	・海外旅行業務に必要な基礎知識 ・渡航手続・国際航空運賃規則、計算方法・世界の地理、観光資源 ・国内、国際航空運送約款、フェリー運送約款、貸切バス運送約款、宿泊約款	1前	150	5	○			○				○	
○			海外旅行実習 (海外ツアー)	・海外旅行プランの作成 ・方面別、目的別の日程表	1後	90	3		○		○				○	
○			国内旅行実習 (国内ツアー)	・実務として必要な個人旅行の日程表作成 ・日程表を作成することで情報の提供方法、プレゼンテーション能力、時刻表、ガイドブック等の検索能力、観光地理の再認識と情報収集能力等の習得	1後	90	3		○		○				○	
○			日本旅館実務	・日本旅館実務を通してサービス、接客、ホスピタリティを学習 ・提供する側からのサービスとお客様が求めるサービス・接客、環境、設備・日本旅館の裏側、課題	1前	30	1		△	○	○				○	○
○			コミュニケーション 技法	社会人として重要視されるコミュニケーション能力の基本を理解し、事例演習を通じて効果的な実践方法を身につけることが目的。	1後	30	1	△	○		○				○	
○			H・R	コミュニケーション能力を育成しながらホームルームや学校における生活上の諸問題の解決や集団の生活の充実をはかる。	1前・後	60	2	○	△		○			○		
○			一般教養	一般教養の演習問題と解説、時事問題や経済用語の解説を行いながら就職筆記試験に備える。	1前・後	60	2	△	○		○				○	
		○	国家試験対策	国家試験取得に向け、過去問題や授業内容の復習を行う	1前	30	1	○			○				○	
○			プレゼンテーション 技法	就職試験において重要視されるプレゼンテーションの基本を理解し、事例演習を通じて効果的な実践方法を身につけることを目的としている。	1後	30	1	△	○		○				○	
○			ビジネス応用	・ビジネス会話とクレーム対応・CSとは・商業用語、経済用語 ・ビジネス文書の書き方・電話応対のロールプレイング・冠婚葬祭のマナーなど	2前・後	60	2	○			○				○	
合計					科目	単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
業要件及び履修方法は上記必修科目及び選択必修科目で1950単位時間(65単位)以上を満たすものとする	1学年の学期区分	前後期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 プライダル・ホテル・トラベル学科 トラベルコース) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			パソコン応用	・Wordの習得と検定対策 ・タイピング練習 ・ビジネス文書作成 ・表、図形、イラスト、インターネットの活用 ・Excel、Mosの知識習得	2前・後	60	2			○	○			○	
○			キャリアデザイン	・就職を目標とする企業研究と自己研究、研鑽 ・企業研究 ・グループ、個人の面接練習	2前	30	1		○		○		○		
		○	キャリアデザイン	・企業研究 ・筆記対策 ・面接練習など個人の進捗状況に合わせ指導する	2後	30	1		○		○		○		
		○	課外研修	・インターンシップ、企業訪問、企業説明などを通して企業のしくみや仕事を理解するとともに実務経験を通して知識や理解も深める。	2前・後	30	1	△	○			○	○		
		○	学園祭	学生が普段学んでいる知識・技術を学生が主体となり出店、展示を企画し運営することを学ぶ	2前・後	30	1	△	○		○		○		
○			英会話	・日常会話としての英語能力向上を目的とした学習 ・場面設定による会話能力の習得	2前・後	60	2	○			○			○	
○			旅行英語	・国家試験合格のための旅行英語 ・実務として旅行関係機関との取引に関する知っておくべき英語知識 ・観光地、宿泊、乗り物における実用英語の知識の学習	2前・後	60	2	○			○			○	
○			中国語	・日常会話の知識向上 ・旅行、ショッピング、乗り物、病院等様々な場面での会話能力の習得	2前・後	60	2	○			○			○	
○			旅行業法・約款	・国家試験に合格するための法律知識の学習の継続 ・旅行会社を経営・運営する為に必要な知識 ・旅行者との取引に関する知っておくべき知識	2前	60	2	○			○			○	
○			国内旅行(地理・運賃)	・国家試験に合格するための法律知識の学習の継続 ・旅行者との取引に関する知っておくべき知識 ・観光地、施設、乗り物、宿泊の規則と運賃料金の計算、取消	2前	60	2	○			○			○	
○			海外旅行(各種・地理・運賃・出入国・実務)	・海外旅行業務に必要な学習の継続 ・渡航手続き ・国際航空運賃規則。計算方法 ・世界の地理、観光資源 ・国内、国際航空運送約款、フェリー、貸切バス運送約款、宿泊約款	2前	150	5	○			○			○	
○			海外旅行実習(海外ツアー)	・海外旅行プランの作成 ・方面別、目的別の日程表	2後	90	3		○		○			○	
○			国内旅行実習(国内ツアー)	・実務として必要な団体旅行の日程表作成 ・日程表を作成することで情報の提供方法、プレゼンテーション能力、時刻表、ガイドブック等の検索能力、観光地理の再認識と情報収集能力等の習得の継続	2後	90	3		○		○			○	
○			ホテル総論	ホテルとは何のために存在しているのか、ホテルの歴史にはどのような変遷があるのか、ホテルの組織や業務の特徴を学ぶ	2後	30	1	○	△		○			○	
○			H・R	学生生活へのアドバイスや基礎体力作り、地域ボランティアを通じ、クラスや学年を超えた交流を図ります	2前	30	1	○	△		○			○	
		○	H・R	学生生活へのアドバイスや基礎体力作り、地域ボランティアを通じ、クラスや学年を超えた交流を図ります	2後	30	1	○	△		○			○	
		○	国家試験対策	国家試験取得に向け、過去問題や授業内容の復習を行う	2前	30	1	○			○			○	
		○	POPデザイン	POPデザインの基礎を習得することにより、就職後の店頭メニュー等に役立つ技術を身につける	2前・後	60	2	△	○		○			○	
		○	手話	手話の基本を習得するとともに、障がい者のニーズやサポート方法を学ぶ	2後	30	1	○	△		○			○	
○			一般教養	一般教養の演習問題と解説、時事問題や経済用語の解説を行いながら就職筆記試験に備える。	2前	30	1	△	○		○			○	
合計				41科目		2280単位時間(76単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	前後期
業要件及び履修方法は上記必修科目及び選択必修科目で1950単位時間(65単位)以上を満たすものとする	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。